木更津市野球連盟主催野球大会実施要項

木更津市野球連盟

木更津市野球連盟主催野球大会の各大会の運営を適格化し、競技技術、スピードアップならびにマナーアップを図ることを目的とし、公認野球規則、公益財団法人全日本軟式野球連盟競技者必携ならびに本大会実施要項要及び遵守事項に基づき実施する。

１．各試合ともに出場チームは、試合開始時刻の４０分前までに原則、監督または主将または当日の代表者が打順表３部を作成し、大会本部に提出し、登録原簿との照合を受けた後、当該試合の担当審判員の立会いの下、トスにて攻守決定する。《時間厳守》
なお、打順表にあっては当日参加予定者（未到着者含む）を記入する者とする。
また、攻守決定後、自チームに戻った時点からブルペンの使用を許可する。
（但し、試合中のチーム使用を優先とし、使用後はブルペンの整備を必ず行うこと）
ブルペン使用のバッテリーにおいては、試合に臨む服装（帽子、ユニホーム、スパイク）で必ず使用すること。特に捕手においては、安全面を考慮し防具（マスク（SGマーク付き必要）、ヘルメット、レガース、ファウルカップ）を着用することとし、試合中の打球からの危険防止のため、打球監視員を必要のある施設では、１名置くように努めることとする。

２．大会当日、天候等により雨天等でも試合を行う場合や全試合を中止にする場合又は試合時間を遅らせて実施する場合があるので、当日の７時２０分以降に各球場に問合せをし、確認すること。
ただし、ブロック大会に於いては、当日の７時に態度決定する。
（自チームでの独自の判断はしないこと）

３．試合に臨む最低人員を９名とし、満たない場合は棄権とみなし、相手チームの勝利とする。
（但し、練習時のボール回収やファウルボールの回収要員を必ず参加させる、よって10名以上必要）
このことについて、試合整列時に最低人員９人に満たない場合は棄権とみなし、試合途中での欠員も認めず、試合終了整列時までこれを保たなければならないものとする。

４．試合前のウォーミングアップ（準備運動、キャッチボール、素振り等）においては、駐車場、スタンド等は厳禁とする。

５．ベンチは若番が一塁側とする。(先攻、後攻はトスにて決める)

６．試合はトーナメント方式、全試合を７回戦とする。
但し、７回戦を満たない回で、試合時間が１時間３０分を経過した場合は、新しいイニングに入らずその時点のイニング終了をもって勝敗を決する。(決勝戦も同様)
なお、ブロック大会においては、試合時間を１時間４０分とする。

[特別延長戦]

継続打順で、前回の最終打者を１塁走者、２塁の走者はその前の打者とする。
すなわち、無死１塁、２塁の状態にして１イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。
勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。

なお、特別延長戦における投手、野手、代打、代走等の交代は認めるものとする。
ただし、交代して一度ベンチに下がった選手の再出場は認めない。

７．次の場合はコールドゲームを適用する。（決勝戦も同様）

（１）５回以降７点以上の差が生じた場合。

（２）３回10点差が生じた場合（令和３年～）．なお、ブロック大会においては適用しない．

（３）日没、降雨により、試合続行が不可能と判断し、５回が完了した場合。

（４）日没、降雨により、５回を完了しない場合、原則として再試合とする。

８．シートノックは後攻チームより行い、５分以内で終了すること。但し、大会運営上略する事もある．この場合は攻守決定時に両チームに通知する。なお、ノッカーを含む選手全員は試合に出場する服装（帽子、ユニホーム、スパイク、防具等）、選手以外でシートノックに参加するマネージャー等（ボール渡し、拾いを含む）運動の出来る服装で臨むこと。（サンダル・ハイヒールや私服は厳禁）

９．当年度登録としていない選手を出場させた場合は、チーム全体の責任とし当該試合を没収試合とする。特に、他のリーグ（社会人、大学、高校野球等）、他都道府県市及び他のクラス（Ａ級、Ｂ級、Ｃ級等）に登録されている選手を出場させることは厳禁であり、違反した場合においては、上記事項に併せて出場停止等の厳重処分を科せるものとする。

処分内容については、役員会にて決定する。

10．試合中は打順表に記載された監督、主将、選手、当年度登録された部長、マネージャー、スコアラー各１名以外は、ベンチ内に入ることを認めない。

（注：９人で試合に臨む場合のみ、当該審判員の許可を得てベンチ内に私服等の選手以外を入れることを許可する。あくまでもファウルボールや練習ボールの回収等の目的の為、常識の範囲の人数とする。但し、ブロック大会においては適用しない）

11．試合中のファウルボールは、原則１塁側は１塁ベンチ、３塁側は３塁ベンチ、バックネット側は両ベンチが責任もって回収処理しチーフに渡すこと。

12．攻守交代時に最後のボール保持者は、投手板にボールを置き、ベンチに戻ること。

13．試合中における打者、次打者、走者、ベースコーチは、棄権防止のため、（全軟連公認のＳＧマーク付）ヘルメットを着用すること。（イヤーフラッグは片側、両側は問わない）

また、捕手は、レガース、捕手用ヘルメット（ＳＧマーク付）、プロテクター、ファウルカップを必ず着用すること。また、ブルペン及び試合の合間の投球練習も同様とする。

14. 試合で使用する金属バット等は全軟連公認のＪＳＢＢマーク表示を使用すること。
なお、素振り用の鉄棒、鉄製バット、バットリング等の球場内への持込みや使用を禁止する。

15. 試合中に選手に不慮の事故等がおき、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと当該試合の審判員が認めた場合は、相手チームの監督又は主将に臨時代走（コーティシーランナー＝相手の好意で便宜的に許される代走）を許可する。臨時代走については、試合に出場している８人の中で出塁していない最も遠い打順の選手とする。（但し、投手、捕手を除く）

16. アピールの出来る者は、監督または、主将と当該プレーヤーのいずれか１名とする。

17. スピードアップの観点から投手は初回に登板する際、又は他の投手を救援する際には、準備投球の数を５球とし、２回以降は３球とする。

18. 試合及び練習中において、球場内外からの打球や送球による車両、家屋、対人等に損傷が生じた場合には、当事者間にて対処をお願いいたします。
（スポーツ保険、損害保険等チームでの保険加入を勧めます。）

19. 投手がセットポジションまたはワインドアップを始めてから、打者がバッターボックス内で打撃姿勢を取ろうとしない場合や、みだりにバッターボックスを外した場合、審判からの警告が３回目にはストライクを宣告する。

20. 走者がいない時、投手がボールを受けた後、打者がバッターボックスに入り投手に面した時から始まり、12 秒以内に投球すること、違反した場合はボールを宣告する。
なお、走者がいる場合は、20 秒以内とし、警告を発し３回目からはボールを宣告する。

21. タイムの制限
捕手または、内野手が、一試合に投手の所へ行ける回数を、７イニングスの試合では、三度以内とする。なお、延長戦（特別延長戦も含）となった場合は、２イニングスに一度行くことが出来る。
タイムは 60 秒以内を限度とする。なお、試合進行状況により審判員が時間を短縮することもある。

22. 背番号は、０～９９番とし、参加申込書に記載されている選手は全員必ず付けなければならない。

23. スパイクの色は、自由とし、全員同色でなくても良い。

24. アンダーシャツ及びストッキングは全員同色のものでなければならない

25. サングラスは大会本部の承認なしに使用できる。（ミラーレンズも可能）
但し、帽子の後頭部に掛けるのは禁止とする。